平成 24 年 4 月 23 日

各　　位

会 社 名　　株式会社ネットプライスドットコム
代表者名　　代表取締役 兼 グループ CEO　　佐藤 輝英
（コード番号 3328 東証マザーズ）
問合せ先　　代表取締役副社長 兼 グループ CFO　中村 浩二
電　　話　　03－5739－3350

（訂正）「平成 23 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成 24 年 3 月 30 日付の「監査法人による当年度監査の過程において指摘された事項に基づく過年度有価証券報告書、決算短信等の訂正に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 23 年 7 月 26 日付「平成 24 年 9 月期 第 1 四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に上るため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以　　上

【訂正後】

平成23年9月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名　株式会社ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　　URL　http://www.netprice.com
代表者　(役職名)　代表取締役社長兼グループCEO　(氏名)　佐藤　輝英
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役兼グループCFO　(氏名)　中村　浩二　(TEL)03(5739)3350

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1．平成23年9月期第3四半期の連結業績（平成22年10月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	8,210	△12.1	55	△73.3	△84	－	△244	－
22年9月期第3四半期	9,345	△6.3	209	△30.8	152	△50.1	129	5.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	△2,198.01	－
22年9月期第3四半期	1,164.48	1,156.16

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	6,780	4,137	59.4	36,304.70
22年9月期	6,369	4,363	67.0	38,462.03

(参考)自己資本　23年9月期第3四半期　4,032百万円　22年9月期　4,270百万円

2．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	－	0.00	－	0.00	0.00
23年9月期	－	0.00	－		
23年9月期(予想)				－	－

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

当社は定款において期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予定額は未定であります。

3．平成23年9月期の連結業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△13.6	△150	－	△250	－	△450	－	△3,601.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　有

②　①以外の変更　　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期3Q	113,066株	22年9月期	113,066株
②　期末自己株式数	23年9月期3Q	2,000株	22年9月期	2,000株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期3Q	111,066株	22年9月期3Q	111,024株

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
（第３四半期連結会計期間） …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 14

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年３月11日に発生した東日本大震災の影響により、甚大な人的・物理的損失が生じ、一時的に消費支出は大きく冷えこみました。今後も個人消費の動向は不透明な状況が予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、ギャザリング事業においては、事業構造の見直しを進め、バリューサイクル事業においては、ブランディングの継続強化を、コマースインキュベーション事業においては、事業拡大に向けての基盤構築を行ってまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、8,210,988千円（前年同期比12.1%減）、持分法による投資損失の影響により、経常損失は84,278千円（前年同期は経常利益152,780千円）となりました。また、当第１四半期連結会計期間に発生した投資有価証券評価損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等の特別損失により、四半期純損失は244,124千円（前年同期は四半期純利益129,285千円）となりました。

事業のセグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、商品、販売、集客のそれぞれにおいて、コンセプトや形態、手法について抜本的転換をはかる時期に入ったと考え、前四半期までの準備期間を経て、商品においては価格訴求偏重型から価値提案型へ、販売においては低価格・高回転から高付加価値・参加型へ、集客においてはプロモーション型マーケティングからコミュニケーション型マーケティングへと転換を図ってまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は5,220,018千円（前年同期比25.4%減）となり、営業損失は、212,931千円（前年同期は営業利益135,116千円）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、引き続き集客力のある企業との提携拡大に取り組みました。また、首都圏以外にもテレビＣＭを実施し、ブランディングの継続強化を図ったことにより、買い取り点数を増加させることができました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は2,198,197千円（前年同期比33.5%増）、営業利益は141,003千円（前年同期比3.2%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング事業「sekaimon」では、引き続き円高を背景にした内外価格差への高いアテンションと、ソーシャルメディアを活用した集客施策が奏功し、取扱額を拡大させることができました。

海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、大手ECサイトとの提携による共同キャンペーンの実施等提携先との連携強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は821,716千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は47,920千円（前年同期は営業損失172,520千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（ⅰ）資産

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ411,482千円増加し、6,780,662千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が5,235,086千円となり、前連結会計年度末と比べ508,155千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、現金及び預金814,465千円の増加であり、減少要因としては、受取手形及び売掛金259,989千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,545,575千円となり、前連結会計年度末と比べ96,672千円の減少となりました。

（ⅱ）負債

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は2,643,034千円となり、前連結会計年度末と比べ637,704千円の増加となりました。その主な増加要因は、短期借入金299,871千円、1年内返済予定の長期借入金199,800千円、長期借入金211,700千円の増加であり、減少要因としては、支払手形及び買掛金189,141千円の減少であります。

（ⅲ）純資産

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は4,137,628千円となり、前連結会計年度末と比べ226,222千円の減少となりました。その主な減少要因は、利益剰余金244,124千円の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ834,465千円増加し、3,943,778千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、331,210千円となりました。その主な増加要因は、売上債権の減少257,398千円、法人税等の還付90,182千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、140,878千円となりました。その主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出48,621千円、投資有価証券の取得による支出38,910千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は、714,900千円となりました。その主な増加要因は、長期借入による収入700,000千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年４月25日付けで公表しました平成23年９月期の業績予想を修正致しました。詳細につきましては、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成23年７月26日付け）をご参照ください。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年３月31日）を適用しております。これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益は5,996千円減少し、経常損失は5,996千円、税金等調整前四半期純損失は27,047千円それぞれ増加しております。

②表示方法の変更

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日 内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,943,778	※2 3,129,312
受取手形及び売掛金	645,478	905,467
商品	402,823	299,983
繰延税金資産	6,656	14,083
その他	238,349	381,439
貸倒引当金	△1,999	△3,355
流動資産合計	5,235,086	4,726,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	196,123	135,237
減価償却累計額	△74,192	△38,810
建物及び構築物（純額）	121,931	96,427
工具、器具及び備品	375,900	378,495
減価償却累計額	△325,731	△308,672
工具、器具及び備品（純額）	50,168	69,823
有形固定資産合計	172,099	166,250
無形固定資産		
のれん	125,118	162,816
その他	157,285	184,069
無形固定資産合計	282,403	346,886
投資その他の資産		
投資有価証券	349,412	406,013
関係会社株式	215,407	156,005
繰延税金資産	7,708	21,608
その他	518,544	545,484
投資その他の資産合計	1,091,072	1,129,111
固定資産合計	1,545,575	1,642,248
資産合計	6,780,662	6,369,180

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,250	762,391
短期借入金	※1 999,871	※1 700,000
1年内返済予定の長期借入金	216,400	16,600
未払法人税等	61,804	45,324
ポイント引当金	7,207	4,345
その他	463,734	443,222
流動負債合計	2,322,268	1,971,884
固定負債		
長期借入金	245,100	33,400
資産除去債務	64,147	－
繰延税金負債	11,428	－
その他	90	45
固定負債合計	320,766	33,445
負債合計	2,643,034	2,005,329
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,331,417
資本剰余金	2,191,056	2,191,056
利益剰余金	△218,246	25,878
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,019,160	4,263,284
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,745	△9,985
為替換算調整勘定	21,802	18,524
評価・換算差額等合計	13,057	8,539
新株予約権	27,979	21,706
少数株主持分	77,431	70,319
純資産合計	4,137,628	4,363,850
負債純資産合計	6,780,662	6,369,180

（２）四半期連結損益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	9,345,533	8,210,988
売上原価	5,600,280	4,628,666
売上総利益	3,745,253	3,582,322
販売費及び一般管理費	※1 3,535,874	※1 3,526,446
営業利益	209,378	55,875
営業外収益		
受取利息	1,156	1,696
業務受託収入	4,800	－
その他	21,941	11,463
営業外収益合計	27,897	13,159
営業外費用		
支払利息	6,603	8,119
投資事業組合運用損	15,961	4,107
為替差損	13,859	48,376
持分法による投資損失	45,038	85,401
投資有価証券売却損	－	6,742
その他	3,032	566
営業外費用合計	84,495	153,314
経常利益又は経常損失（△）	152,780	△84,278
特別利益		
持分変動利益	35,789	14,772
関係会社株式売却益	4,487	53,950
固定資産売却益	3,331	－
事業譲渡益	26,333	－
特別利益合計	69,941	68,722
特別損失		
持分変動損失	－	2,669
固定資産除却損	2,864	－
減損損失	－	2,203
投資有価証券評価損	37,311	40,075
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	21,051
関係会社債権放棄損	－	30,118
特別損失合計	40,175	96,118
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	182,546	△111,674
法人税、住民税及び事業税	97,123	87,175
法人税等調整額	△28,659	32,755
法人税等合計	68,463	119,931
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△231,606
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△15,201	12,518
四半期純利益又は四半期純損失（△）	129,285	△244,124

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	2,910,546	2,327,823
売上原価	1,699,848	1,251,732
売上総利益	1,210,697	1,076,090
販売費及び一般管理費	※1 1,166,345	※1 1,164,317
営業利益又は営業損失（△）	44,352	△88,226
営業外収益		
受取利息	345	249
業務受託収入	800	－
持分法による投資利益	－	5,378
その他	8,277	2,234
営業外収益合計	9,423	7,862
営業外費用		
支払利息	1,935	3,330
投資事業組合運用損	5,248	3,026
為替差損	30,211	27,217
投資有価証券売却損	－	6,742
持分法による投資損失	42,683	－
その他	61	373
営業外費用合計	80,139	40,689
経常損失（△）	△26,364	△121,054
特別利益		
持分変動利益	33,385	14,772
関係会社株式売却益	4,487	31,811
事業譲渡益	6,333	－
特別利益合計	44,206	46,583
特別損失		
減損損失	－	2,203
投資有価証券評価損	35,113	－
特別損失合計	35,113	2,203
税金等調整前四半期純損失（△）	△17,271	△76,673
法人税、住民税及び事業税	18,558	△1,571
法人税等調整額	△17,258	111
法人税等合計	1,299	△1,460
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△75,213
少数株主利益又は少数株主損失（△）	7,967	△1,619
四半期純損失（△）	△10,603	△76,833

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	182,546	△111,674
減価償却費	141,056	111,640
減損損失	－	2,203
のれん償却額	39,442	37,698
株式報酬費用	6,272	6,272
貸倒引当金の増減額（△は減少）	727	△1,355
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,622	2,861
受取利息及び受取配当金	△1,192	△1,746
支払利息及び社債利息	6,603	8,119
為替差損益（△は益）	12,581	30,877
持分法による投資損益（△は益）	45,038	85,401
持分変動損益（△は益）	△35,789	△12,102
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	21,051
事業譲渡損益（△は益）	△26,333	－
投資事業組合運用損益（△は益）	15,961	4,107
投資有価証券評価損益（△は益）	37,311	40,075
投資有価証券売却損益（△は益）	－	6,592
関係会社株式売却損益（△は益）	△4,487	△53,950
関係会社債権放棄損	－	30,118
固定資産売却損益（△は益）	△3,331	－
固定資産除却損	2,864	－
売上債権の増減額（△は増加）	160,610	257,398
たな卸資産の増減額（△は増加）	△31,647	△102,941
仕入債務の増減額（△は減少）	△165,428	△189,141
未払金の増減額（△は減少）	△32,885	11,613
未払消費税等の増減額（△は減少）	572	△11,374
その他	△40,248	149,512
小計	308,624	321,257
利息及び配当金の受取額	908	1,721
利息の支払額	△7,131	△7,931
法人税等の支払額	△227,347	△74,020
法人税等の還付額	63,024	90,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,077	331,210

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	20,000
有形固定資産の取得による支出	△17,320	△16,324
有形固定資産の売却による収入	1,466	296
無形固定資産の取得による支出	△48,398	△48,621
無形固定資産の売却による収入	76,804	－
投資有価証券の取得による支出	△89,266	△38,910
投資有価証券の売却による収入	－	548
敷金及び保証金の差入による支出	△18,681	△1,573
敷金及び保証金の回収による収入	8,691	4,435
預り保証金の返還による支出	△420	－
貸付けによる支出	△22,500	△30,000
貸付金の回収による収入	22,273	10,083
子会社株式の取得による支出	－	△5,790
関係会社株式の取得による支出	△35,590	△27,466
関係会社株式の売却による収入	10,000	28,003
関係会社社債の取得による支出	△35,560	△35,560
事業譲渡による収入	35,000	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,501	△140,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	603,400
短期借入金の返済による支出	△50,000	△300,000
長期借入れによる収入	－	700,000
長期借入金の返済による支出	－	△288,500
新株予約権付社債の償還による支出	△200,000	－
少数株主からの払込みによる収入	50,020	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,980	714,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,051	△70,766
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△188,455	834,465
現金及び現金同等物の期首残高	3,216,405	3,109,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,027,950	※1 3,943,778

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	2,142,449	552,847	215,249	2,910,546	―	2,910,546
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	77	―	9,182	9,259	△9,259	―
計	2,142,526	552,847	224,431	2,919,805	△9,259	2,910,546
営業利益又は営業損失（△）	28,128	21,891	△44,855	5,165	39,187	44,352

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	6,998,915	1,646,412	700,206	9,345,533	―	9,345,533
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	572	―	37,286	37,858	△37,858	―
計	6,999,487	1,646,412	737,492	9,383,392	△37,858	9,345,533
営業利益又は営業損失（△）	135,116	136,678	△172,520	99,274	110,104	209,378

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

本邦の売上高の金額は、いずれも全セグメントの売上高の合計の90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業領域別にセグメントを構成し、「ギャザリング事業」及び「バリューサイクル事業」、「コマースインキュベーション事業」の３つを報告セグメントとしております。

なお、各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」「24value.com」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業(「sekaimon」)、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ギャザリング事業	バリューサイクル事業	コマースインキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,219,865	2,198,197	792,925	8,210,988	―	8,210,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	―	28,790	28,944	△28,944	―
計	5,220,018	2,198,197	821,716	8,239,932	△28,944	8,210,988
セグメント利益又は損失（△）	△212,931	141,003	47,920	△24,007	79,882	55,875

（注）１．セグメント利益の調整額79,882千円には、セグメント間取引消去5,098千円、未実現利益の消去△304千円、各報告セグメントに配分していない全社収益571,667千円及び全社費用△496,578千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結会計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ギャザリング事業	バリューサイクル事業	コマースインキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,437,883	642,625	247,313	2,327,823	―	2,327,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	―	5,071	5,224	△5,224	―
計	1,438,036	642,625	252,385	2,333,048	△5,224	2,327,823
セグメント利益又は損失（△）	△121,029	△17,629	27,687	△110,972	22,745	△88,226

（注）１．セグメント利益の調整額22,745千円には、セグメント間取引消去1,926千円、未実現利益の消去19千円、各報告セグメントに配分していない全社収益180,891千円及び全社費用△160,092千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【訂正前】

平成23年9月期　第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名　株式会社ネットプライスドットコム　　上場取引所　東
コード番号　3328　　URL　http://www.netprice.com
代表者　(役職名)　代表取締役社長兼グループCEO　(氏名)　佐藤　輝英
問合せ先責任者　(役職名)　常務取締役兼グループCFO　(氏名)　中村　浩二　(TEL)03(5739)3350

四半期報告書提出予定日　平成23年8月11日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無　：有
四半期決算説明会開催の有無　：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1．平成23年9月期第3四半期の連結業績（平成22年10月1日～平成23年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年9月期第3四半期	8,210	△12.1	55	△73.3	△53	－	△218	－
22年9月期第3四半期	9,345	△6.3	209	△30.8	165	△44.6	139	21.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年9月期第3四半期	△1,969.31	－
22年9月期第3四半期	1,253.85	1,244.89

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年9月期第3四半期	6,780	4,137	59.4	36,305.76
22年9月期	6,369	4,362	67.0	38,449.09

(参考)自己資本　23年9月期第3四半期　4,032百万円　22年9月期　4,270百万円

2．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年9月期	－	0.00	－	0.00	0.00
23年9月期	－	0.00	－		
23年9月期(予想)				－	－

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

当社は定款において期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予定額は未定であります。

3．平成23年9月期の連結業績予想（平成22年10月1日～平成23年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	△13.6	△150	－	△250	－	△450	－	△3,601.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

４．その他　（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　有

②　①以外の変更　　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年9月期3Q	113,066株	22年9月期	113,066株
②　期末自己株式数	23年9月期3Q	2,000株	22年9月期	2,000株
③　期中平均株式数(四半期累計)	23年9月期3Q	111,066株	22年9月期3Q	111,024株

（※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示）

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きが実施中です。

（※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
（第３四半期連結会計期間） …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 14

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年３月11日に発生した東日本大震災の影響により、甚大な人的・物理的損失が生じ、一時的に消費支出は大きく冷えこみました。今後も個人消費の動向は不透明な状況が予想されます。

このような状況の中、当社グループでは、ギャザリング事業においては、事業構造の見直しを進め、バリューサイクル事業においては、ブランディングの継続強化を、コマースインキュベーション事業においては、事業拡大に向けての基盤構築を行ってまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、8,210,988千円（前年同期比12.1%減）、持分法による投資損失の影響により、経常損失は53,401千円（前年同期は経常利益165,362千円）となりました。また、当第１四半期連結会計期間に発生した投資有価証券評価損、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等の特別損失により、四半期純損失は218,723千円（前年同期は四半期純利益139,207千円）となりました。

事業のセグメントの業績は、次のとおりであります。

① ギャザリング事業

ギャザリング事業におきましては、商品、販売、集客のそれぞれにおいて、コンセプトや形態、手法について抜本的転換をはかる時期に入ったと考え、前四半期までの準備期間を経て、商品においては価格訴求偏重型から価値提案型へ、販売においては低価格・高回転から高付加価値・参加型へ、集客においてはプロモーション型マーケティングからコミュニケーション型マーケティングへと転換を図ってまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は5,220,018千円（前年同期比25.4%減）となり、営業損失は、212,931千円（前年同期は営業利益135,116千円）となりました。

② バリューサイクル事業

バリューサイクル事業におきましては、引き続き集客力のある企業との提携拡大に取り組みました。また、首都圏以外にもテレビＣＭを実施し、ブランディングの継続強化を図ったことにより、買い取り点数を増加させることができました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は2,198,197千円（前年同期比33.5%増）、営業利益は141,003千円（前年同期比3.2%増）となりました。

③ コマースインキュベーション事業

コマースインキュベーション事業におきましては、グローバルショッピング事業「sekaimon」では、引き続き円高を背景にした内外価格差への高いアテンションと、ソーシャルメディアを活用した集客施策が奏功し、取扱額を拡大させることができました。

海外居住者向けの商品転送サービス「転送コム」では、大手ECサイトとの提携による共同キャンペーンの実施等提携先との連携強化に努めてまいりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は821,716千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は47,920千円（前年同期は営業損失172,520千円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

（ⅰ）資産

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ411,482千円増加し、6,780,662千円となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が5,235,086千円となり、前連結会計年度末と比べ508,155千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因としては、現金及び預金814,465千円の増加であり、減少要因としては、受取手形及び売掛金259,989千円の減少であります。また、固定資産合計は、1,545,575千円となり、前連結会計年度末と比べ96,672千円の減少となりました。

（ⅱ）負債

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は2,642,891千円となり、前連結会計年度末と比べ635,819千円の増加となりました。その主な増加要因は、短期借入金299,871千円、1年内返済予定の長期借入金199,800千円、長期借入金211,700千円の増加であり、減少要因としては、支払手形及び買掛金189,141千円の減少であります。

（ⅲ）純資産

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は4,137,771千円となり、前連結会計年度末と比べ224,336千円の減少となりました。その主な減少要因は、利益剰余金218,723千円の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ834,465千円増加し、3,943,778千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において営業活動による資金の増加は、331,210千円となりました。その主な増加要因は、売上債権の減少257,398千円、法人税等の還付90,182千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において投資活動による資金の減少は、140,878千円となりました。その主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出48,621千円、投資有価証券の取得による支出38,910千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第３四半期連結累計期間において財務活動による資金の増加は、714,900千円となりました。その主な増加要因は、長期借入による収入700,000千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年４月25日付けで公表しました平成23年９月期の業績予想を修正致しました。詳細につきましては、別途公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」（平成23年７月26日付け）をご参照ください。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準に関する事項の変更

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号平成20年３月31日）を適用しております。これにより、当第３四半期連結累計期間の営業利益は5,996千円減少し、経常損失は5,996千円、税金等調整前四半期純損失は27,047千円それぞれ増加しております。

②表示方法の変更

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年３月24日 内閣府令第５号）の適用により、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目で表示しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,943,778	※2 3,129,312
受取手形及び売掛金	645,478	905,467
商品	402,823	299,983
繰延税金資産	6,656	14,083
その他	238,349	381,439
貸倒引当金	△1,999	△3,355
流動資産合計	5,235,086	4,726,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	196,123	135,237
減価償却累計額	△74,192	△38,810
建物及び構築物（純額）	121,931	96,427
工具、器具及び備品	375,900	378,495
減価償却累計額	△325,731	△308,672
工具、器具及び備品（純額）	50,168	69,823
有形固定資産合計	172,099	166,250
無形固定資産		
のれん	125,118	162,816
その他	157,285	184,069
無形固定資産合計	282,403	346,886
投資その他の資産		
投資有価証券	349,412	406,013
関係会社株式	215,407	156,005
繰延税金資産	7,708	21,608
その他	518,544	545,484
投資その他の資産合計	1,091,072	1,129,111
固定資産合計	1,545,575	1,642,248
資産合計	6,780,662	6,369,180

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成23年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	573,250	762,391
短期借入金	※1 999,871	※1 700,000
1年内返済予定の長期借入金	216,400	16,600
未払法人税等	61,804	45,324
ポイント引当金	7,207	4,345
その他	463,591	444,965
流動負債合計	2,322,125	1,973,627
固定負債		
長期借入金	245,100	33,400
資産除去債務	64,147	－
繰延税金負債	11,428	－
その他	90	45
固定負債合計	320,766	33,445
負債合計	2,642,891	2,007,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331,417	2,331,417
資本剰余金	2,191,056	2,191,056
利益剰余金	△138,945	79,777
自己株式	△285,067	△285,067
株主資本合計	4,098,460	4,317,184
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,745	△9,985
為替換算調整勘定	△57,380	△36,812
評価・換算差額等合計	△66,125	△46,797
新株予約権	27,979	21,706
少数株主持分	77,456	70,014
純資産合計	4,137,771	4,362,107
負債純資産合計	6,780,662	6,369,180

（２）四半期連結損益計算書

（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	9,345,533	8,210,988
売上原価	5,600,280	4,628,666
売上総利益	3,745,253	3,582,322
販売費及び一般管理費	※1 3,535,874	※1 3,526,446
営業利益	209,378	55,875
営業外収益		
受取利息	1,156	1,696
業務受託収入	4,800	－
その他	21,941	11,463
営業外収益合計	27,897	13,159
営業外費用		
支払利息	6,603	8,119
投資事業組合運用損	15,961	4,107
為替差損	1,277	17,498
持分法による投資損失	45,038	85,401
投資有価証券売却損	－	6,742
その他	3,032	566
営業外費用合計	71,913	122,436
経常利益又は経常損失（△）	165,362	△53,401
特別利益		
持分変動利益	35,789	14,772
関係会社株式売却益	4,487	53,950
固定資産売却益	3,331	－
事業譲渡益	26,333	－
特別利益合計	69,941	68,722
特別損失		
持分変動損失	－	2,669
固定資産除却損	2,864	－
減損損失	－	2,203
投資有価証券評価損	37,311	40,075
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	21,051
関係会社債権放棄損	－	30,118
特別損失合計	40,175	96,118
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	195,128	△80,797
法人税、住民税及び事業税	97,123	87,175
法人税等調整額	△28,659	32,755
法人税等合計	68,463	119,931
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△200,728
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△12,541	17,994
四半期純利益又は四半期純損失（△）	139,207	△218,723

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	2,910,546	2,327,823
売上原価	1,699,848	1,251,732
売上総利益	1,210,697	1,076,090
販売費及び一般管理費	※1 1,166,345	※1 1,164,317
営業利益又は営業損失（△）	44,352	△88,226
営業外収益		
受取利息	345	249
業務受託収入	800	－
為替差益	1,498	－
持分法による投資利益	－	5,378
その他	8,277	2,234
営業外収益合計	10,921	7,862
営業外費用		
支払利息	1,935	3,330
投資事業組合運用損	5,248	3,026
為替差損	－	7,990
投資有価証券売却損	－	6,742
持分法による投資損失	42,683	－
その他	61	373
営業外費用合計	49,928	21,462
経常利益又は経常損失（△）	5,344	△101,827
特別利益		
持分変動利益	33,385	14,772
関係会社株式売却益	4,487	31,811
事業譲渡益	6,333	－
特別利益合計	44,206	46,583
特別損失		
減損損失	－	2,203
投資有価証券評価損	35,113	－
特別損失合計	35,113	2,203
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	14,438	△57,446
法人税、住民税及び事業税	18,558	△1,571
法人税等調整額	△17,258	111
法人税等合計	1,299	△1,460
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△55,986
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△2,838	4,988
四半期純利益又は四半期純損失（△）	15,976	△60,974

（３）（四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	195,128	△80,797
減価償却費	141,056	111,640
減損損失	－	2,203
のれん償却額	39,442	37,698
株式報酬費用	6,272	6,272
貸倒引当金の増減額（△は減少）	727	△1,355
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,622	2,861
受取利息及び受取配当金	△1,192	△1,746
支払利息及び社債利息	6,603	8,119
持分法による投資損益（△は益）	45,038	85,401
持分変動損益（△は益）	△35,789	△12,102
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	21,051
事業譲渡損益（△は益）	△26,333	－
投資事業組合運用損益（△は益）	15,961	4,107
投資有価証券評価損益（△は益）	37,311	40,075
投資有価証券売却損益（△は益）	－	6,592
関係会社株式売却損益（△は益）	△4,487	△53,950
関係会社債権放棄損	－	30,118
固定資産売却損益（△は益）	△3,331	－
固定資産除却損	2,864	－
売上債権の増減額（△は増加）	160,610	257,398
たな卸資産の増減額（△は増加）	△31,647	△102,941
仕入債務の増減額（△は減少）	△165,428	△189,141
未払金の増減額（△は減少）	△32,830	9,727
未払消費税等の増減額（△は減少）	572	△11,374
その他	△40,303	151,397
小計	308,624	321,257
利息及び配当金の受取額	908	1,721
利息の支払額	△7,131	△7,931
法人税等の支払額	△227,347	△74,020
法人税等の還付額	63,024	90,182
営業活動によるキャッシュ・フロー	138,077	331,210

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成22年６月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成23年６月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	－	20,000
有形固定資産の取得による支出	△17,320	△16,324
有形固定資産の売却による収入	1,466	296
無形固定資産の取得による支出	△48,398	△48,621
無形固定資産の売却による収入	76,804	－
投資有価証券の取得による支出	△89,266	△38,910
投資有価証券の売却による収入	－	548
敷金及び保証金の差入による支出	△18,681	△1,573
敷金及び保証金の回収による収入	8,691	4,435
預り保証金の返還による支出	△420	－
貸付けによる支出	△22,500	△30,000
貸付金の回収による収入	22,273	10,083
子会社株式の取得による支出	－	△5,790
関係会社株式の取得による支出	△35,590	△27,466
関係会社株式の売却による収入	10,000	28,003
関係会社社債の取得による支出	△35,560	△35,560
事業譲渡による収入	35,000	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△113,501	△140,878
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	603,400
短期借入金の返済による支出	△50,000	△300,000
長期借入れによる収入	－	700,000
長期借入金の返済による支出	－	△288,500
新株予約権付社債の償還による支出	△200,000	－
少数株主からの払込みによる収入	50,020	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,980	714,900
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,051	△70,766
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△188,455	834,465
現金及び現金同等物の期首残高	3,216,405	3,109,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,027,950	※1 3,943,778

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（1）外部顧客に対する売上高	2,142,449	552,847	215,249	2,910,546	―	2,910,546
（2）セグメント間の内部売上高又は振替高	77	―	9,182	9,259	△9,259	―
計	2,142,526	552,847	224,431	2,919,805	△9,259	2,910,546
営業利益又は営業損失（△）	28,128	21,891	△44,855	5,165	39,187	44,352

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

	ギャザリング事業（千円）	バリューサイクル事業（千円）	コマースインキュベーション事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
（１）外部顧客に対する売上高	6,998,915	1,646,412	700,206	9,345,533	―	9,345,533
（２）セグメント間の内部売上高又は振替高	572	―	37,286	37,858	△37,858	―
計	6,999,487	1,646,412	737,492	9,383,392	△37,858	9,345,533
営業利益又は営業損失（△）	135,116	136,678	△172,520	99,274	110,104	209,378

（注）１．事業区分の方法

事業の区分は、事業の性質の類似性及び内部管理上採用している区分に基づき、経営の実態が具体的かつ適切に開示できるよう、区分しております。

２．各区分に属する主要な事業

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業（「sekaimon」）、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

本邦の売上高の金額は、いずれも全セグメントの売上高の合計の90％超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結会計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）及び前第３四半期連結累計期間（自　平成21年10月１日　至　平成22年６月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業領域別にセグメントを構成し、「ギャザリング事業」及び「バリューサイクル事業」、「コマースインキュベーション事業」の３つを報告セグメントとしております。

なお、各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

事業区分	主要事業
ギャザリング事業	インターネット通信販売事業(「ちびギャザ」「ネットプライス」「24value.com」)
バリューサイクル事業	バリューサイクル事業(「Brandear」)
コマースインキュベーション事業	グローバルショッピング事業(「sekaimon」)、美容商品企画販売事業(「Syan」)、転送サービス事業(「転送コム」)

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年10月１日　至　平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）2
	ギャザリング事業	バリューサイクル事業	コマースインキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,219,865	2,198,197	792,925	8,210,988	―	8,210,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	―	28,790	28,944	△28,944	―
計	5,220,018	2,198,197	821,716	8,239,932	△28,944	8,210,988
セグメント利益又は損失（△）	△212,931	141,003	47,920	△24,007	79,882	55,875

（注）１．セグメント利益の調整額79,882千円には、セグメント間取引消去5,098千円、未実現利益の消去△304千円、各報告セグメントに配分していない全社収益571,667千円及び全社費用△496,578千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第３四半期連結会計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）1	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	ギャザリング事業	バリューサイクル事業	コマースインキュベーション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,437,883	642,625	247,313	2,327,823	―	2,327,823
セグメント間の内部売上高又は振替高	153	―	5,071	5,224	△5,224	―
計	1,438,036	642,625	252,385	2,333,048	△5,224	2,327,823
セグメント利益又は損失（△）	△121,029	△17,629	27,687	△110,972	22,745	△88,226

（注）１．セグメント利益の調整額22,745千円には、セグメント間取引消去1,926千円、未実現利益の消去19千円、各報告セグメントに配分していない全社収益180,891千円及び全社費用△160,092千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。